

漁海況情報

平成21年10月5日 第28号(通巻418号)

山口県水産研究センター 外海研究部 〒759-4106 長門市仙崎2861-3

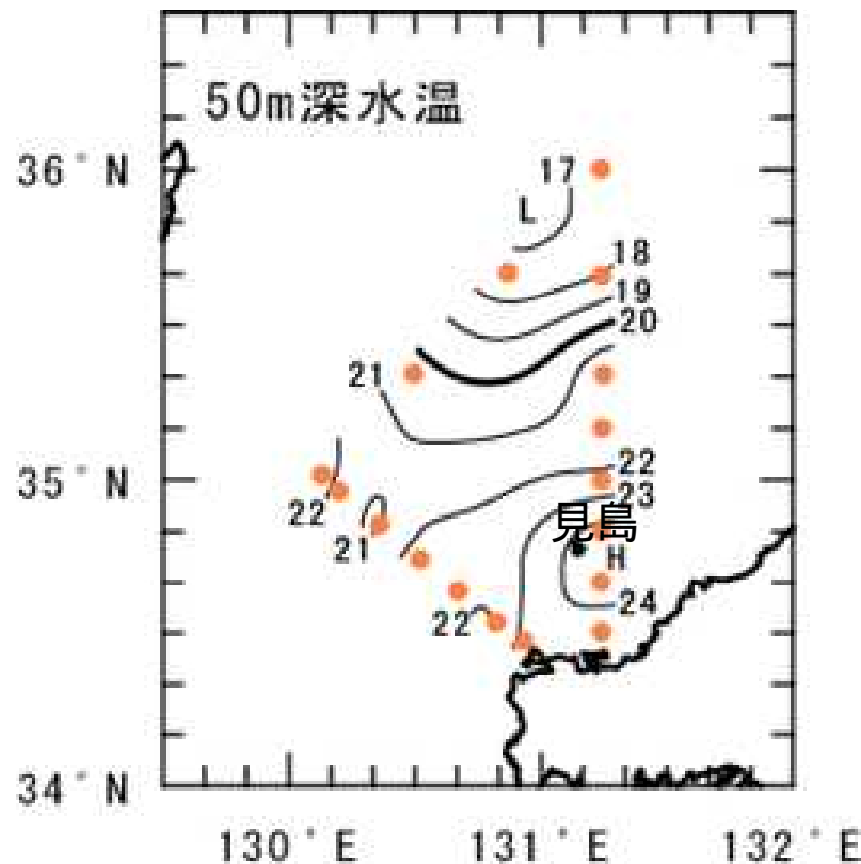
TEL: 0837-26-0711 FAX: 0837-26-1042 Mail: a16402@pref.yamaguchi.lg.jp

HPアドレス: <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16500/uminari/uminari-top.html>

【くろしおによる海洋観測】

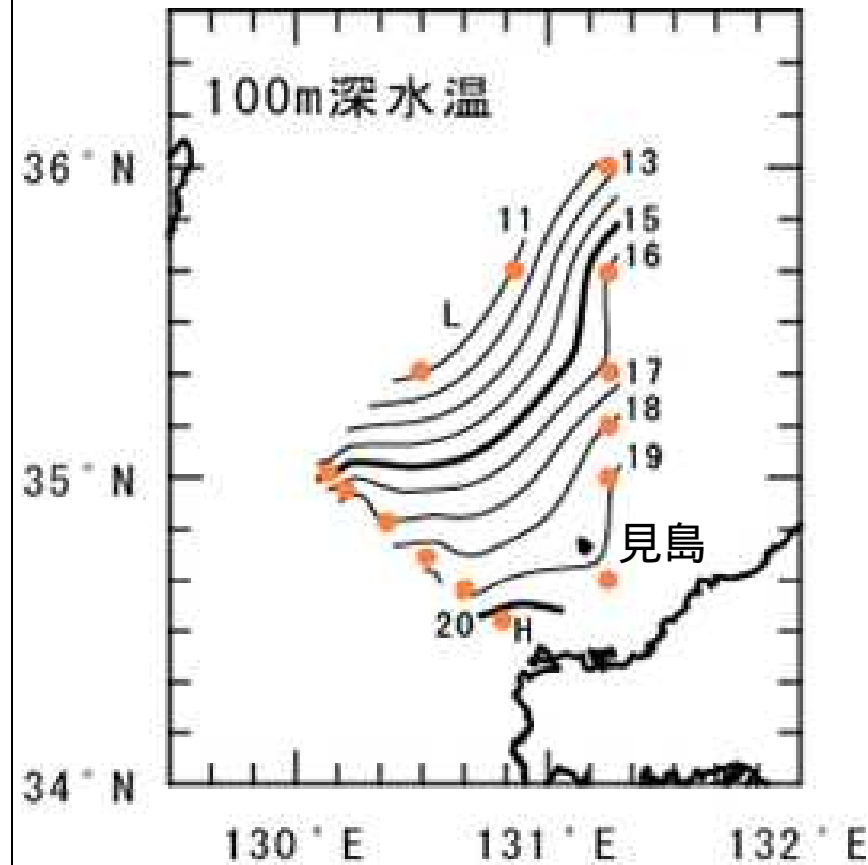
10月1~2日に漁業調査船「くろしお」で定線観測を実施した結果、50m・100m 深の水温分布並びに魚群分布は、以下のとおりになりました。

【50m 深水温分布】



見島から沿岸では22~24°C台でやや高め(+0.8°C)、見島から沖合では16~23°C台で平年並みでした。

【100m 深水温分布】



見島から沿岸では18~20°C台でやや高め(+0.9°C)でした。見島から沖合では10~18°C台で平年並みでした。先月の観測時にみられた島根沖冷水は、若干北上したものの、依然として北緯35度30分、東経130度40分付近にみられました。

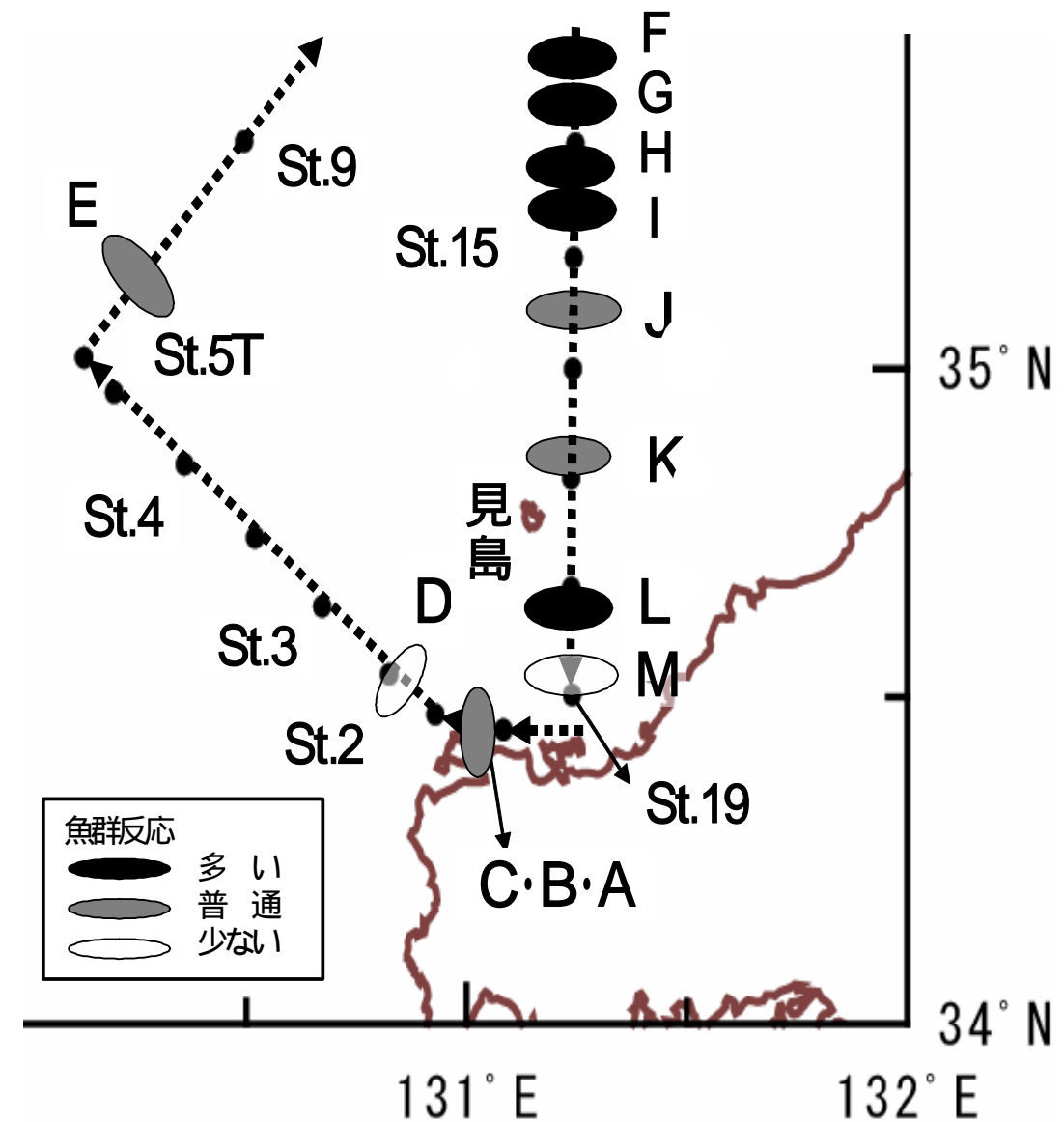
【魚群分布】

10月1~2日の観測で魚群反応のあった海域とその反応水深ならびに表層水温は以下の図表のとおりでした。魚群は川尻 NW 線上で少なく、見島北線上、特に北緯 35 度 16 分以上の F~I で多く見られました。

表 10月定線観測で魚群反応のあった海域とその反応水深ならびに表層水温 (単位: °C)

漁場名称	反応のあった海域	日付	時間	緯度	経度	表層3m水温 (°C)	その位置の水深 (m)	魚群反応	反応水深帯
川尻岬中	A	10月1日	11:56	34°27.97'N	131°04.31'E	25.5	79	普通	45m~海底付近
川尻岬中	B	10月1日	12:10	34°27.98'N	131°01.88'E	25.5	80	普通	70m~海底付近
川尻岬中	C	10月1日	12:17	34°28.04'N	131°00.12'E	25.5	78	普通	60m~海底付近
St.2直前	D	10月1日	13:32	34°31.16'N	130°50.99'E	25.3	103	少ない	75m~海底付近
St.5T~9途中	E	10月1日	20:38	35°03.48'N	130°13.32'E	24.9	126	普通	35~40m
St.13~14途中	F	10月2日	9:19	35°34.85'N	131°14.83'E	24.3	143	多い	40~80m
(FG間に連続した反応)	G	10月2日	10:15	35°25.29'N	131°15.00'E	25.1	114	多い	60m~海底付近
St.14~15途中	H	10月2日	10:52	35°20.32'N	131°14.90'E	25.3	107	多い	50~90m
(HI間に連続した反応)	I	10月2日	11:25	35°16.30'N	131°14.84'E	24.6	104	多い	60m~海底付近
St.15~16	J	10月2日	12:48	35°05.29'N	131°14.84'E	24.5	103	普通	75~85m
St.17	K	10月2日	14:25	34°50.71'N	131°14.96'E	25.1	68	普通	50m~海底付近
St.17~18	L	10月2日	15:04	34°45.71'N	131°14.65'E	24.9	76	多い	60m~海底付近
St.19	M	10月2日	16:39	34°31.19'N	131°14.83'E	24.7	76	少ない	45m~海底付近

緯度・経度は世界測地系で表示。



【萩 - 見島フェリー観測の表層水温】

萩 - 見島フェリー観測の表層水温(下図)は、9月中旬まで降温・昇温を繰り返していましたが、下旬に入り 25°C前後で推移しています。10月5日の表層水温は 24.7°Cで、前年に比べ 0.3°C高め、平年に比べ 1.5°C高めです。

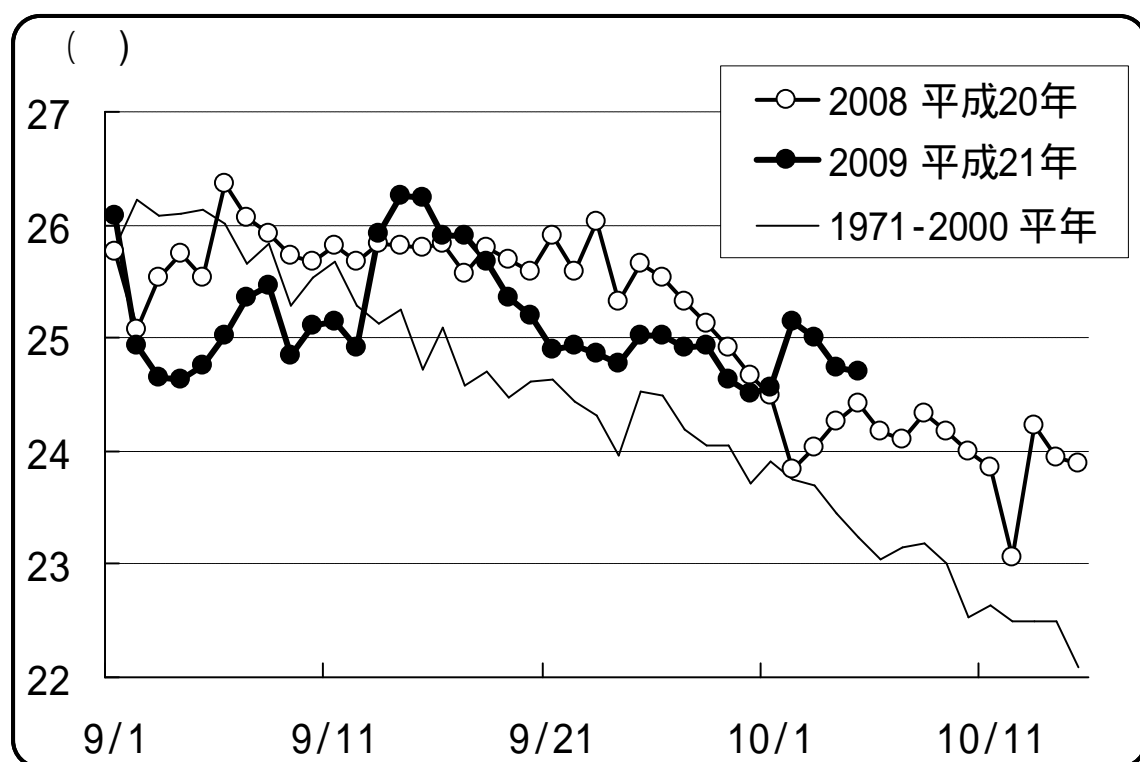


図 萩NNW15マイル沖の表層水温

【平成21年度第3回日本海海況予報】

(平成21年10月2日、独立行政法人水産総合研究センター日本海区水産研究所発表)

日本海区水研、山口県～北海道までの13機関、漁業情報サービスセンター、水産庁資源生産推進部漁場資源課で検討した結果から、本県に関係ある部分を抜粋しました。

今後の見通し(平成21年10月～12月)

- (1) 隠岐諸島北東の暖水域は、強い勢力を保ったままほぼ停滞する。
- (2) 島根沖及び山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは平年並みで経過する。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は「平年並み」で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部及び北部とも「平年並み～やや低め」で経過する。

「やや低め」: 約4年に1回の出現確率である1°C程度の低さ。